

調査の概要

1. 調査目的と調査事項

本調査は中学生の生活や価値観などについて、基本的な資料を得ることを目的としている。また、この基本的な調査は、1990年に実施した「中学生の生活調査 未来予測」と同じ質問を行って、中学生の生活や価値観を時系列的に捉えようとしている。

また、本調査は日本だけでなく、アメリカと中国との三カ国比較という方法を取っている。こうすることによって、中学生の生活や価値観が、どのように変り、それが将来どのように変化するかを把握する一方、他の国と比べて、日本の中学生がどのような特徴をもっているかを明らかにする。

本調査では、中学生の生活や価値観の基本的事項について質問したが、友人や学校生活及び夢や希望についても焦点を当てた。

質問項目は以下のとおりである。

- 1) 国家目標
- 2) 人生目標
- 3) 自己概念・自己評価
- 4) クラスの人気者
- 5) 学校の成績の意味
- 6) 友人
- 7) 規範意識
- 8) 生活観
- 9) 悩み
- 10) 学校生活
- 11) 理想の先生像
- 12) 理想の父母像
- 13) 夢、将来像

2. 調査方法と調査対象

本調査は日本、アメリカ、中国の三ヶ国で、ほぼ同じ質問紙を用いて行なった。

調査の実施時期、調査対象、サンプリング、調査方法は次のとおりである。

	日本	アメリカ	中国
調査実施時期	2001年10月～2002年1月	2002年2月～3月	2001年10月～12月
調査地域	全国10地点12校 宮城県、山形県 千葉県、東京都 長野県、富山県 滋賀県、島根県 愛媛県、熊本県	16地域16校 Starbuck Glenwood Cozad Page Hickory Mcalester Miami Buras Kilgore West Allis Chewelah Milwaukee West Memphis Marion Seabrook Brandon	10地域16校 北京市、上海市 青島市、瀋陽市 ハルビン市、済南市 西安市、武漢市、 重慶市、鄭州市
対象	中学1年生～3年生	中学1年生～3年生	中学1年生～3年生
調査方法	学校における集団 質問紙法	学校における集団 質問紙法	学校における集団 質問紙法
有効回収数	1071票	1110票	1299票

3 調査対象者の基本属性

学年

	日本		アメリカ		中国	
	1990年	2002年	1990年	2002年	1990年	2002年
1 中1	31.9	30.1	30.7	34.3	35.7	31.6
2 中2	33.8	44.2	41.0	36.4	32.1	34.5
3 中3	34.3	25.8	28.2	29.3	32.2	33.4
無回答	0.9	0.0	2.1	0.0	0.0	0.5
実数(人)	1288	1071	901	1110	985	1299

性別

	日本		アメリカ		中国	
	1990年	2002年	1990年	2002年	1990年	2002年
1 男	50.2	46.8	45.6	49.1	51.3	47.6
2 女	48.9	52.6	52.3	50.5	48.7	50.9
無回答	0.9	0.7	2.1	0.5	0.0	1.5

現在誰と一緒に住んでいますか？

	日本	アメリカ	中国
1. 父親	87.1	69.7	81.7
2. 母親	95.0	89.7	84.4
3. 祖父母	48.2	6.2	16.8
4. 兄弟姉妹	84.1	60.2	12.9
5. 親類の人	3.1	4.5	5.2
6. 一人(寮・アパートなど)	0.2	0.4	10.6
7. その他	1.8	5.3	3.8
無回答	0.3	0.2	0.0

4 調査結果の要約

一 目標

1 国家目標

日本：「社会的に安定し、不安のない国家」37.1%、「国民の生活が経済的に豊かな国家」34.8%。

アメリカ：「外国が信頼し、援助やアドバイスを求める国家」25.8%、「軍備などの国力が強く、他国に侮られない国家」17.9%。

中国：国民の生活が経済的に豊かな国家」30.6%、「軍備などの国力が強く、他国に侮られない国家」24.5%。

2 人生目標

三カ国とも「その日その日を楽しく過ごす」「生きがいのある仕事をもつ」「幸福な家庭生活を送る」

二 将来の希望・夢

1 情熱を注いでやってみたいこと

日本：「スポーツの分野」32.4%、「音楽の分野」25.1%、「ファッションの分野」23.0%

アメリカ：「スポーツの分野」46.6%、「学問の分野」45.7%

中国：「ITの分野」44.9%、「学問の分野」33.3%、「文学の分野」31.3%

2 家庭生活上の人生設計

(1) 結婚の予測年齢

日本：「23～25歳」31.7%、「20～22歳」28.1%

アメリカ：「23～25歳」35.1%、「20～22歳」22.8%

中国：「23～25歳」26.3%、「26～29歳」16.9%

(2) 親になる予測年齢

日本：「23～25歳」27.4%、「26～29歳」24.1%

アメリカ：「26～29歳」30.1%、「23～25歳」27.7%

中国：「26～29歳」23.6%、「30歳以上」11.4%

3 希望する学歴

日本：「4年制大学まで」38.9%、「高卒まで」27.9%、「専門学校まで」19.8%

アメリカ：「4年制大学まで」30.1%、「修士まで」28.6%、「博士まで」18.0%

中国：「博士まで」47.5%、「修士まで」23.7%、「4年制大学まで」19.9%

三 自己評価

「自分に起こったことは、すべて自分の責任だ」日本 25.2%、アメリカ 59.7%、中国 46.9%（「よく当てはまる」の比率、以下も同様）

「計画を立てたら、それをやり遂げる自信がある」日本 9.8%、アメリカ 54.2%、中国 32.8%

「私は自分に大体満足している」日本 9.4%、アメリカ 53.5%、中国 24.3%

「私は人並みの能力がある」日本 15.6%、アメリカ 56.5%、中国 49.3%

「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」日本 8.8%、アメリカ 51.8%、中国 49.3%

四 友人関係

1 友達の大切な性質

日本：「明るい」76.4%、「信頼できる」72.4%、「元気な」65.7%

アメリカ：「カッコいい」76.8%、「ユーモアがある」74.0%、「元気な」65.4%

中国：「ユーモア」68.5%、「信頼できる」62.3%、「良心的な」61.6%

2 友人関係観

日本：「一緒に時間を楽しく過ごす」

アメリカ：「一緒に時間を楽しく過ごす」「いつもお互いに連絡をとっている」「お互いのプライバシーに立ち入らない」「お互いの約束を決して破らない」

中国：「一緒に時間を楽しく過ごす」「お互いの約束を決して破らない」

五 学校生活

1 部活動の参加

日本：「運動部に入り、積極的に参加している」54.8%

アメリカ：「運動部に入り、積極的に参加している」44.5%、「文化部に入り、積極的に参加している」44.1%

中国：「入ったことがあるが、今は入っていない」50.7%

2 成績の示す意味

「努力の程度」日本 69.5%、アメリカ 63.9%、中国 79.7%

「先生の教える能力」日本 33.1%、アメリカ 54.3%、中国 52.1%

3 数学授業の理解度

「ほぼ理解できる」日本 20.7%、アメリカ 30.0%、中国 40.7%

「ほとんど理解できない」日本 9.7%、アメリカ 2.2%、中国 3.5%

4 理想の先生

日本：「生徒の気持ちがよくわかってくれる先生」「授業が面白い先生」「冗談を言

い合えるような先生」

アメリカ：「冗談を言い合えるような先生」「生徒の気持ちをよくわかってくれる先生」「授業が面白い先生」「授業に熱心な先生」

中国：「生徒の気持ちがよくわかってくれる先生」「冗談を言い合えるような先生」「授業が面白い先生」「受験指導の上手な先生」

5 悩み

日本：「勉強や進学のこと」66.2%

アメリカ：「家族のこと」72.0%、「勉強や進学のこと」64.7%、「健康のこと」62.2%

中国：「勉強や進学のこと」74.7%

6 クラスの人気者

日本：「ユーモアのある人」61.1%

アメリカ：「ユーモアのある人」67.2%、「スポーツのできる人」62.5%

中国：「ユーモアのある人」68.0%、「勉強のできる人」56.3%

六 生活意識と規範意識

1 生活において重要なこと

日本：「同性の友人との交友」62.5%

アメリカ：「学校での勉強」69.2%、「家庭生活」63.3%

中国：「学校での勉強」64.6%、「一人でいる時間」63.5%、「家庭生活」62.0%

2 理想の父親像

日本：「自分のことをよくわかってくれるお父さん」

アメリカ：「できるだけ家族と一緒にいるお父さん」「何でも話せるお父さん」

中国：「自分のことをよくわかってくれるお父さん」「困った時相談にのってくれるお父さん」

3 理想の母親像

日本：「自分のことをよくわかってくれるお母さん」

アメリカ：「何でも話せるお母さん」「自分のことをよくわかってくれるお母さん」
「できるだけ家族と一緒にいるお母さん」

中国：「自分のことをよくわかってくれるお母さん」「やさしいお母さん」

4 絶対してはいけないこと

日本：「万引きをする」「煙草を吸う」「友達をいじめる」「先生に暴力を振るう」「学校の建物や公共の物を壊す」がいずれも7割以上。肯定率が低いのは「親を反抗すること」「うそをつくこと」「遅刻すること」

アメリカ：「友達をいじめる」「万引きをする」「学校の建物や公共の物を壊す」「煙草を吸う」がいずれも8割以上。肯定率が低いのは「うそをつくこと」「遅刻すること」

中国：全項目の肯定率（「絶対してはいけない」）が日本とアメリカより高い。

[単純集計へ](#)